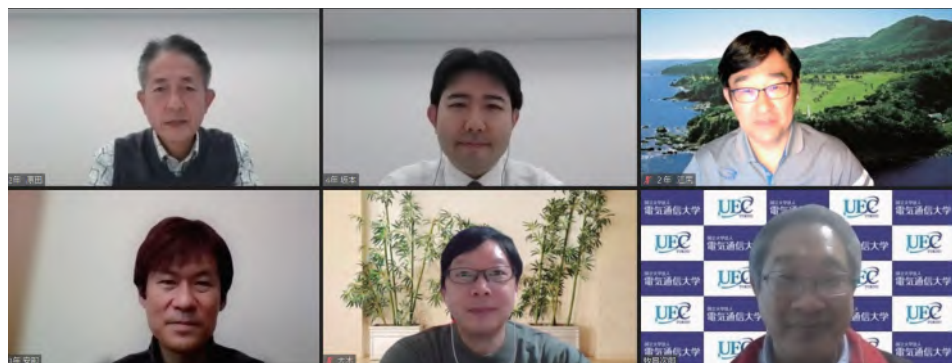


# 育友会奨励賞選考委員会



委員長 安部英助



※ 19～23 頁に関連記事

打ちされた様々な評価が熱く議論され、それでも最終的には「頑張った・頑張っている学生たちを応援しよう!」という奨励賞の趣旨に則って選考結果を決定しました。

今年もコロナ禍の中での作品募集となりましたが昨年を上回る 16 件の応募があり、専大生の意欲の高さとチャレンジ精神を感じるとともに、この育友会奨励賞が学生の皆さんに浸透していることに対し、委員全員がやり甲斐と責任の重大さを嬉しく(!) 噛み締めました。選考会議は時節柄オンライン中心での開催となったものの、片や思い入れのある主観的意見、片や理路整然とした客観的意見と、各委員のバックボーンに裏

私たち委員は役割として「評価」する側の立場にいますが、送られてくる論文等を読み進めるうちに、かえって自分が大いなる感銘と刺激を享受しています。そういう意味ではできれば奨励賞を受賞した全作品を会報やホームページに載せて、学生はもちろん、広く父母の皆様にもご覧いただき我々と思いを共有したいところですが、諸事情により代表 1 作品のみの掲載となっております。皆様必読ください!

# 育友会活動推進委員会



委員長 後藤康夫



部のみでの開催という結果となりました。そして各種会議がオンライン会議化、ハイブリッド会議化(オンライン参加とリアル参加の併用)、就職懇談会も Web 配信、ご父母・

活動推進委員会は「60 年後の育友会を見据えた活動基盤の強化」を目的として令和元年度に新設されました。常任役員のみならず支部長、顧問、相談役にもご参加いただき、幅広い意見を取り入れ、将来の育友会に資するべく活動を行っております。過去には支部懇談会申し込み方法の Web 化やメールマガジンの配信などを手掛けて参りました。

しかしながら一昨年来のコロナ禍により令和 2 年度は支部懇談会全面中止、令和 3 年度もわずか 3 支

保護者と大学の個人面談もオンラインにての実施となりました。従来は全く予想のできなかったことが今、次々と現実のものとなっております。

今後はこうした大きなうねりの中、ご父母・保護者の安心のため、ご子女の自信のために良き伝統を引き継ぎながら、常に新たな取り組みに挑戦し続け、新しい道を見出していくことが我々 12 名の活動推進委員会のお役目と信じて邁進して参りたいと考えております。

# スポーツ応援推進委員会



委員長 吉村信子

スポーツ応援推進委員会は体育会の応援活動を主としています。昨年度に引き続き、コロナ禍の影響を受けている今年度は、なかなか思うように活動ができない状況が続いています。そのような中でも、10月には有観客試合だった体育会野球部 (vs 立正大学戦) の応援のため、委員会メンバーと上尾市民球場へ足を運びました。

試合終了は19時過ぎとなり、試合後半は陽が落ちてとても寒い中、ルールに従い声を出さず、席の間隔を空けての観戦となりましたが、久しぶりに楽しいものでした。新型コロナウイルスの影響を受けずに活動することができた2019年は、神宮球場で行われた野球部の春季リーグ戦の入れ替え戦に始まり、真夏の水泳部(水球)の試合、澄んだ秋空のもとで行われた昭和記念公園での箱根駅伝予選会と、季節ごとにスポーツ応援推進委員会全体で、あるいは有志で専大の学生に熱いエールを送りました。

新型コロナウイルスが収束し、1日も早く、また1試合でも多く、頑張っている学生選手を応援する機会が増えることを心から願っております。



↑ 10月24日(日)上尾球場、立正大戦。齋藤正直監督と視察応援団



↑ 先発した川上鳳之投手(経営4)

# 会報『育友』編集委員会



委員長 石川 誠



年に4回お手元にお届けしている会報『育友』の編集を担当しているのが会報『育友』編集委員会です。委員会の活動内容は、誌面の企画や取材同行などを通して、大学や育友会の情報(学生生活、ゼミ・サークル、クラブ活動、インターンシップ、その他)

を提供しております。

編集委員会では読者アンケートを参考に会員の皆様のニーズに沿った誌面作りを心がけております。そこでより多くの会員の皆様からのご意見をお伺いしたいと考えております。会報『育友』をお読みいただいた折にはQRコード(巻末)又は育友会

ホームページよりアクセスいただき、アンケートにご回答いただきたいと思います。アンケートについて、私たち編集委員会も個人情報は一切知ることなく、内容のみを参考にしております。より多くのご意見をお待ちしております。